



いちよう

2018-2 NO.12
きんざんようちえん

プロジェクト活動で育つこと

1年を通して追いかけて続けたテーマ「どうぶつ ど〜こだ！」もいよいよ最終段階で、子どもたちの中にはコアラボ博士など各種博士が多数現れています。2/16の保育参観でこれまで関心を寄せたこと、調べてわかったことを発表・報告をすることにして、子どもたちの“やる気”に繋がるようにしたいと思います。

金山幼稚園では例えばいちよう祭に向けて作品を作る場合、子どもたちが「個人で作るのか、みんなで作るのか」「何を作るのか」「どのように作るのか」など小グループで話し合いながら進めていきます。教師は指示を出すのではなく、その話し合いに同等に参加し、子どもとともに作業に加わります。このような遊び方をプロジェクト活動といいますが、最近注目されている「レッジョ・エミリア・アプローチ」という幼児教育実践法のひとつです(レッジョ・エミリアについては各自調べてみてください)。金山幼稚園ではこの方法で保育を実践しているとは言いませんが、何十年も継続しているところです。

- 自分の考えを主張する自主性が身に付く
 - 友人の意見を聞き、話し合っ進めていく協調性が身に付く
 - 思い通りにならないことから、自分の気持ちを調整する力が育つ
 - 自分たち自身で目的を見つけ出す探究力が育つ
 - 共同活動の中で自分の役割を見出し理解できる
- このような育ちが保育参観で垣間見えることを願っています。

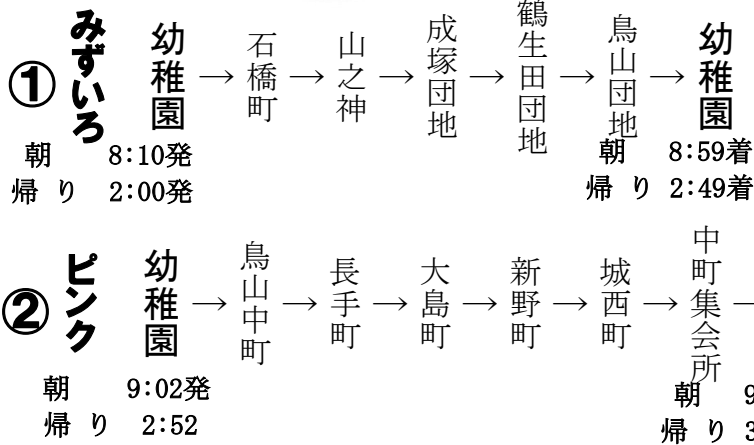
3学期は進級・進学に向けて、この1年間の自らの成長を喜び、新たに迎える4月からの生活に胸を膨らます大切な時期です。年長児はたくさん大切な人とお別れします。友だちと力を合わせて頑張ったことやたくさんのお大人に応援してもらったことを思い出して、感謝の気持ちを持って「ひとつ大きく」なれるように、残りの日々を大切にしたいと思います。この時期「そんなことではひとつ大きくなれませんよ」と励ますと、どの子どももみなビシッ！とするのですから面白いですね。子どもなりに留年？は困った事態なのでしょうね。進学する子も進級する子も、みんなで胸いっぱい春を迎えたいものです。

2			
1	木	まめまき	ひろば
2	金	卒園観劇 おにぎり	
3	土		
4	日		
5	月	弁当の日	
6	火		
7	水	食事づくり お好みおにぎり ワンタンスープ	
8	木		
9	金		
10	土		
11	日	建国記念の日	下駄箱づくり
12	月	振替休日	
13	火		実習生1名(～19日)
14	水	食事づくり コロコロおでん お楽しみご飯	
15	木		
16	金	保育参観	
17	土		
18	日		下駄箱づくり
19	月	弁当の日	
20	火		ひろば
21	水	食事づくり パエリア 野菜スープ	
22	木		
23	金		
24	土		
25	日		
26	月		
27	火	役員会(最終)11:30	
28	水	誕生会 食事づくりカレーパーティー	

2日(金)
観劇エアリス(年長・年中)
「白雪姫/ヘンゼルとグレーテル」
太田市主催の卒園観劇に年中・年長で参加します。
年少と満3歳は園で通常保育になります。
全園児におにぎり弁当とジュースが出ますので
主食はいりません。
制服制帽着用です。



2月のバス



異動の報告を
年長児保護者には既に調査をさせていただきましたが、進級児で住所、連絡先などに変更がありましたら、担任までお知らせ下さい。メモにして職員にお渡し下さい。

保育参観 2/16(金)

今年度のテーマである「どうぶつ ど〜こだ！」の総仕上げです。サバンナ、ジャングル、牧場の3グループに分かれて、子どもが興味を持った動物を表現したり、調べて分かったことをステージから報告します。保護者の皆さまは“観客役”をお願いします。椅子は使用せず床に座りますので、座布団等ご持参下さい。当日は次のようにお願いします。

保育公開時間 / 9:30～12:00

ステージ / 10:30 頃から

場所 / 金山幼稚園 保育室及び遊戯室

駐車場 / 南園庭を開放 (西門からお入りください)

持ち物 / 上履き、座布団、

送迎の方は子どもを9:30までに登園させてください。

バスはいつも通りです。

当日は保育も公開しますので、9時半から12時までの間で子どもたちの様子をご覧ください。

マラソンで

子どもたちからの強い要望で朝のマラソンが始まりました。特に年長児は最上学年ですから、「ちゅうりっぷぐみまで全員の総意がないと始められない」ことを伝えると説得したりコースを案内したりと開催に向けて必死な姿を見せました。何があっても最後まで頑張ることを約束しましたが、保育者からの誘いで始めるのではなく自分たちから「やりたい！」と言った以上、年長児は途中で投げ出せない責任も生まれ、気合いが違います。

ただ、過去の経験から、「子どもの強い気持ちを養う」というねらいにに対し、保護者による日々連続の応援が妨げになることがあったり、マラソンに自信のない子のなかには「自分の親には応援してもらいたくないけど、他の大人のひとつには…」という気持ちの子もいるようです。走ることを苦にしない子どもになって欲しいという願いで実施していますので、マラソンがトラウマになってしまっは意味がありません。単に順位に一喜一憂するのではなく、その子がどのくらい頑張っているかを見落とさないようにしています。そのために担任は全員の着順を記録し、大きな変動があった時には機を逃さずに褒めたり励ましたりしています。

- ・少し辛いことでも、諦めずに続けていれば何とかなる。
- ・ボクももう少し頑張れるかも？
- ・みんなと一緒にだから不安になることはない。

マラソンだけでなくいろいろな場面でそんな風に見える子になって欲しいです。きっと子どもたちに伝わると信じています。

2 (金曜日)	7	14	21	28
おにぎり弁当 ジュース	お好みおにぎり ワンタンスープ	コロコロおでん お楽しみご飯	パエリア 野菜スープ	カレーライス
なし	空の弁当箱、お椀、箸	お椀2、箸	お椀2、スプーン	カレー皿、スプーン

水曜日

2月のメニュー